

トピックス

職員・作業班員の 先進地研修

平成二十四年六月十四日西部環境森林事務所のご協力により、近年高性能林業機械を導入して急速に素材生産性を伸ばしている「渋川広域森林組合」と「渋川県産材センター」を視察しました。

地形等条件に恵まれているとはいえ、今後の低コスト作業システムの構築に向け大変刺激を受けた研修となりました。



渋川広域森林組合現場



渋川県産材センター

群馬県鳥獣害対策成果 発表会で職員が成果を発表

平成二十五年二月十二日、前橋市のJ Aビルに於いて群馬県の主催で開催された発表会では、「クマによる剥皮被害防止に向けての取組みについて」と題し事業課都橋主任・宮田技師が発表し注目されました。

発表の要旨は、群馬県のクマによる剥皮被害は、そのほとんどが桐生地区や利根沼田地域と思われていたが、昨年、県の指導のもと調査をした結果、管内でも被害量がかなり多く集中的に発生しているのが確認された。



剥皮の特徴として全周を剥がされているので気付きにくかった。

今回の調査をきっかけに、森林所有者に山に関心を持ってもらうよう被害調査の発表を兼ね剥皮研修会（現地を含め）を開催した。その結果、所有者の皆さんは、境界確認しながら被害の様子も見ることができたこと。

今年度、調査場所に於いて数種類の防除資材設置と無人カメラ等による監視活動をするなどして、その場所ごとに適した有効な手段を森林所有者の皆さんへ提

案できるような行政・試験機関と協力していきたいというものです。

「空師(そらし)」さん紹介



組合員の皆さん「空師」という仕事を御存知でしょうか、最近、組合員の皆さんや一般市民から屋敷周りの巨木の伐採を頼まれることが多くなっていますが、その大部分がクレーンの入れない場所や、下に構築物がある場所となっています。

そこで、森林組合では、市内に住む空師・中澤重雄さん（六十二歳）をお願いして枝落とし・伐採をしています。

その方法は、先端に力ギを取り付けた竹竿とフック付のロープを使い、竿を操作し、ロープを枝に引っ掛けて固定、たぐりながら上へ上へと進んで、チェーンソーなどの作業に必要な道具もロープで上げ下ろしするほか、切断した幹・枝も下にある構築物などに落とさないよう方向や、落下の速度を抑制しながらロープをうまく使って下ろしています。

最近では、「エコパーク榛名」の檜の巨木・過去には「榛名神社の矢立杉」社殿上の枝落としもしています。

経費は若干高くなりますが、お困りの方は、森林組合にご相談ください。